
スリムモデルのトップランナーへ

古典籍 on flickr !
～漢籍・法帖を写真サイトでオープンしてみると～
ASIAN LIBRARY CAFÉ: 002

2017年10月20日(金)

福島 幸宏(京都府立図書館)

1

コメンツの背景

- 京都市明細図の街歩きへの展開 (2010年秋から)
- 東寺百合文書webへのCC BY採用 (2014年3月)
- 京都府立図書館横断検索の高速化 (2016年3月)
- 内閣府知的財産戦略本部 デジタルアーカイブの連携に関する実務者協議会 メタデータのオープン化等検討ワーキンググループにおける「スリムモデル」の提起 (2016年10月)

2017/10/20

2

スリムモデルとは

- 「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」（2017年4月公開）の議論に際して提起
- 発想の前提
 - **持続可能性** をキーワードに「これだけは」という要件を
 - 念頭にあったのは何も武器を持たない小さな市町村
- スリムモデルの要件
 - 利用規約の明示
 - 機械可読性の担保
 - 環境に依存しないデータ移行性の担保
 - アクセシビリティの確保
- 「ガイドライン」には発想としては反映された（かな）

2017/10/20

3

論点の確認－要素の分解と持続性の担保

- 「デジタルアーカイブ」の分解（スリムモデルとともに提起）
 - 本体：メタデータと画像ファイルの集合体+API提供
 - 表皮：多様な利用方法・見せ方を提供
 - 触手：表皮を使って本体を売り込む活動
 - プラットフォーム + ショーウィンドー + フォーラム
- iPRESでの杉本講演（2017年9月）
 - デジタル化の意味すること 入れ物からの中身の分離
 - 中身は、利用者の特性や好み、仕事の内容、利用環境の特性に応じて、いろいろな形で利用される
 - デジタル保存の対象
 - デジタル形式で表現されたすべてのオブジェクトを対象とすると考える。
 - デジタルコンテンツとそのメタデータ
 - 利用環境とそのメタデータ
 - 利用者のメタデータ
 - メタデータに関するメタデータ（デジタルコンテンツを格納したパッケージ）
 - コンテンツに関する様々な権利や制約等を示した記述（すなわち、権利や制約等に関するメタデータ）を維持管理していかねばならない

2017/10/20

4

今回の報告に即して

- 大学におけるスリムモデルだ！（富澤報告）
 - 見事な優先順位の選択（ともかく公開 例）京都市明細図）
 - もっと議論され、参照されて良いプロジェクト
- PDへ（成田報告）
 - 論理的な正着はここ、もうそろそろ…
 - 「お願い」との併用という作戦
- 事後的なメタデータの検討（木村報告）
 - 他の資料との接続とメタデータの提起
 - この営為こそまさにフォーラム的活動
- アプリケーション的展開（永井報告・中村報告）
 - Omeka・IIIF・Linked Data での展開は順当かつ興味深い（一挙にリッチに）

2017/10/20

5

おねだりごと

- ユニークIDへの展望
 - 組織の中でユニークなIDで、かつある程度永続できるような工夫を
 - この場合、「組織」の単位が勝負（リポジトリ等で達成されている？）
 - 実務の交渉をきっかけに、全体のゆるやかな統合を視野に入れる
 - ジャパンサーチ構想との連関のためにも重要な要素（要確認）
- 外部からのアプローチへの姿勢
 - 相互関係を形成できる、という積極的な捉え方
 - 「デジタルアーカイブの民主主義」の具現
- 評価とインセンティブの獲得
 - 自らの活動をどの角度から位置づけているか？
 - 論考・報告以外のプラスアルファの活動評価にも挑戦してほしい
- プロジェクトの“意思”のマイグレーション
 - マニュアル、ドキュメントの持続的な公開（リポジトリ？）
 - “意思”の持続自体が、この種のプロジェクトでは挑戦
 - 大学内外を聴衆化・顧客化する戦略

2017/10/20

6